

かたの



平成27年
2 / 1

市議会だより

議会ニュース

祝平成27年交野市成人式

平成25年度の決算を認定

一般会計及び5特別会計の歳入歳出決算



平成27年交野市成人式（新成人代表による誓いの言葉）

目次

- 2 議会ニュース
- 3-6 一般質問
- 7-9 委員会審査のあらまし
- 10 議会で決めたこと

第4回議会定例会を開催

平成26年第4回議会定例会は、12月1日～19日の19日間を会期として開き、市長提出案件27件（継続案件6件含む）、議員提出案件3件を審議しました。

平成25年度の決算を認定

一般会計及び5特別会計の歳入歳出決算

本会議の動き

第4回議会定例会

今議会は、12月1日から19日の19日間を会期として12月1日に開会しました。

12月1日初日は、冒頭に第3回議会定例会（9月議会）において決算特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた「25年度交野市一般会計歳入歳出決算認定」ほか5特別会計の歳入歳出決算認定について、同委員長からの審査報告を行い、討論・採決の結果、一般会計及び5特別会計の歳入歳出決算は、すべて認定しました。

次に、「固定資産評価員の選任」を同意し、その後「交野市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」など9議案を可決しました。

また、「交野市事務分掌条例の一部を改正する条例」ほか4議案を総務文教

常任委員会に、「交野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定」ほか4議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。

15日～17日には、市政全般に対する一般質問（3～6ページ参照）を行いました。

最終日19日には、2常任委員長から付託案件の審査報告が行われた後、採決の結果、すべての議案を可決しました。

次に、追加上程された「25年度交野市一般会計補正予算（第5号）」及び意見書3本を可決した後、「議員の派遣」並びに、議会運営委員会及び2常任委員会の「所管事務調査」を決定し、今議会は閉会しました。

（会議結果は最終ページをご覧ください。）

■ 議会報告会開催を決定 ■

第4回目の議会報告会を5月に開催することを決定しましたので、お知らせします。

議会報告会は、議会基本条例に基づき開催するもので、市民への議会活動の報告と市民との意見交換を行うものです。

- ・日時：平成27年5月10日（日）
午前10時30分から正午まで
- ・場所：交野市役所別館 3階中会議室

※詳細については、「5月1日号議会だより」でご案内します。

交星クラブ

浅田 耕一
前波 艶子

図書館行政について

— 教育行政について — ほか

問 高度情報化が進む中、インターネットやスマートフォン
の普及により、子どもの活字離れ、読書離れが非常に危惧されているところである。こうした現状を受けて、今、教育現場では学校図書館支援事業が進められているところであるが、この事業の内容は。

答 学校図書館支援事業では、学校図書館に読書センターとしての機能に加えて、学習・情報センターの機能をも持たせることを目的に、学校図書館における書架の配置や蔵書の並び替え、或いは蔵書のデータベース化といった読書環境の整備をはじめ、学校司書

の配置、更には、支援組織となる図書ボランティアの育成などに取り組んでいるところである。これまでの実績としては市内14校ある小中学校のうち、8校について読書環境の整備が完了し、学校司書の配置に至ったところが4校、残り4校についても平成27年度中に



学校図書館

配置し、学校図書活性化に努めていきたい。当然、残りの6校についても、これまでと同様に読書環境の整備を行った後に、学校司書の配置を考えており、こうしたハード面における充実に取り組む一方、子ども読書活動推進計画の実施といったソフト面における取り組みも進めていく考えである。

組織体制について
(市政運営について)

問 新年度に向けて、今年般、組織改正の一環として新たな「部」を設ける議案が提出されたところである。その目的は、行政経営の視点の強化と公共施設の老朽化対策などの一元管理と示されたところであるが、具体的には。

答 行政経営の視点の強化とは、今後、人口減少が進むことが予想される中で、

より効率的な事務執行が求められることから、今後、政策コントロール、財政コントロールがまさしく重要になることは明らかである。そのため、新しい部において、効率的な事務執行体制の構築に努めていくものである。また、公共施設の一元管理については、土地建物を問わず、保有するすべての財産の状況の把握を新たな部と施設所管課で行うものである。これは、これまで、施設所管課では建築等に関する専門的な知識を有する職員の配置が十分になされておらず、それが結果として計画的な修繕計画の立案にまで至っていない状況であった。こうしたことを踏まえ、新たな部において、施設管理課と共に状況把握を行うと同時に適切な時期に技術的な支援を行いながら施設改修などを行っていくものである。

会派無所属 坂本 顕
学校給食での地産地消、食育、
残滓(食へ残し)、牛乳ほかの
現状と課題について

(地産地消) 農業生産連合会を通じて提供いただいているが、生産者の方々の高齢化等もあり、量の確保が難しい。昨年度実績では野菜は全体の約6%、米は約17%を地場産で賄っている。(食育) 家族で一緒に食事をする機会が減り、一人で食事をする「孤食」が問題視されているが、その点からも食育の取り組みを充実させたい。(残滓) 食育効果もあり、この10年で残滓は大幅に減少した。新給食センターでは残滓の分解装置による液体肥料化を図る予定である。(牛乳) 他市では牛乳なしの給食も試験的に始められているが、栄養上の観点から牛乳の提供は不可欠なものと考えている。

その他の質問

通学路の安全対策について。

市民クラブ

久保田 哲
野口 陽輔

公共施設の老朽化対策について ほか

問 前回の一般質問において、本市が所有し、または借り上げている施設である公共施設の現状について質問しました。その多くが昭和50年代に建設された施設であり、老朽化対策が喫緊の課題であるということが判明しました。対策として、庁内組織を設置し、将来の人口構成や行政需要への変化などから、長期的な公共施設の再配置の方向性について検討を始めているとの答弁だったが、検討会での状況について伺います。

てまいりました。従来の仕組みに縛られない柔軟な発想が重要であるとの考えから、庁内の若手職員を委員として人選をいたしました。今後の人口減少社会において、公共施設等を現状のままフルセットで保有し続けることが必要か、また、将来的な公共施設再配

置をどのようにイメージするのかを先進事例の取り組みなども参考に検討しています。

問 総務省の「公共施設等総合管理計画」を策定するにあたっては、財政健全化の視点というのと同時に考えていくことが必要であると考えます。その点についてはどういうにお考えなのか、伺います。

答 公共施設全体を総合的に管理する、また、活用していくという視点で、今後の老朽化対策を考えることにより、より効率的な施設の改修と、これが実現するものと考えています。検討過程の中では、当然、財政健全化というそこへの視点という部分も漏らすことなく加味して検討していきたいと考えております。

問 教育委員会では、毎年、教育に関する事務の点検・評価報告書を作成し、議会に提出するとともに、広く市民に公表されているが、その制度をどのように活用されておられるのか、伺います。

答 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することになっております。



老朽化が進む庁舎

教育について

点検・評価の対象として、平成25年度においては、交野市教育施策に掲げました15施策52事業を対象とし、また、点検・評価の方法としましては、対象となる施策・事業について、目標、事務・事業の目的及び内容、状況、成果の課題等を明らかにし、達成度、市民満足度及び事務効率の観点から取り組み結果や今後の方向性について評価を行います。

適正な行政経営について ふるさと納税について 公共調達改革について

会派無所属 松本 直高

問 前市長に係る数々の疑惑について市民に説明するべきではないか。

答 信頼回復につなげていく為に事実関係の検証を行い、その過程の中で市民や議会に対する説明責任を果たして参ります。

問 ふるさと納税の展望について。

答 歳入に係るものであり、交野市に魅力を感じて戴いた寄附者をより多く獲得する為、更なる有効な手段を進めるとともに、市HPを充実させ、改訂するパンフレットを市内小中学校の同窓会の際に配布する等で周知を図って参ります。

問 所謂「少額随契」に係る地域振興への取組みについて。

答 効果的な運用ができていない営繕登録制度を抜本的に見直し、併せて周知を図って参ります。

公明党

新 雅人・友井 健二
三浦美代子

安全・安心のまちづくりについて ほか

問 市内の河川管理の取り組みは？

答 市内準用河川6河川のうち4河川については、今年度までに点検完了。残り2河川についても来年度以降に実地予定。今後、普通河川に対しても作業を広げていくよう、検討を進めていきたい。

問 市内の河川管理の取り組みは？

答 この秋の臨時国会で空き家対策の推進に関する特別措置法が可決、成立したことをふまえ、公布の日より3ヶ月以内に策定される基本指針の内容を確認し、他市の先進的な取り組み状況などを参考にしながら必要な施策を講じていきたい。

問 幼稚園の預かり保育の時間延長、病院保育を要望するが。

答 幼稚園の預かり保育は検討していく。さらに病院保育は交野病院と調整中で来年の秋頃に開設されるそうだが、早期開設を要望していく。

問 障害者差別解消法が成立し28年4月1日施行となる。青年の家のエレベーターは公共施設では大きな課題と考えるが。

答 指定管理期間終了後に青年の家の耐震補強と合わせエレベーター設置が望ましいと考える。

問 現在、星田駅北地区のまちづくりが進められていることを考えると、今回の整備にあわせ星田コミュニティセンターを含む星田出張所をその地域へ移転し再整備することも考えられる。今後どのようにしているか。

答 公共施設やサービスのあり方について、例えば、民間施設の借り上げや施設の複合化など、効果的・効率的な公共施設の再配置を検討する。

星田駅北地区のまちづくりについて

子育て支援について

ていく。

答 行政内でネットワーク化し計測器の設置のみならず、健康づくりの体制を検討したい。

会派無所属 片岡 弘子

問 空き家問題が大きな課題になってくると思うが、市として条例制定等の考えは？

答 26年6月1日時点の調査結果によると、本市では国や府の平均を下回っているが、啓発推進はどうなっているのか？

答 この秋の臨時国会で空き家対策の推進に関する特別措置法が可決、成立したことをふまえ、公布の日より3ヶ月以内に策定される基本指針の内容を確認し、他市の先進的な取り組み状況などを参考にしながら必要な施策を講じていきたい。

問 空き家問題が大きな課題になってくると思うが、市として条例制定等の考えは？

答 26年6月1日時点の調査結果によると、本市では国や府の平均を下回っているが、啓発推進はどうなっているのか？

健康福祉行政について

問 年に一回の健康診断の時以外にでも気軽に公共施設の待ち時間に血圧や体調を計測できる機器を設置して市民の健康づくりに寄

問 投票入場整理券に期日前投票宣誓書を印刷して選挙人の便宜を図る考えは？

答 投票率アップも見込まれるが、経費面等、考慮しながら、今後検討していきたい。

投票方法について

問 投票入場整理券に期日前投票宣誓書を印刷して選挙人の便宜を図る考えは？

日本共産党

坂野 光雄・皿海 ふみ
中上さち子

星田北の大規模商業施設の 市内商業への影響について ほか

問 市長は選挙公約で「利便性を活かし交野に仕事・雇用をつくる」としているが、その内容は。

答 今ある産業をしつかり維持していくと同時に、星田北・星田駅北エリアのまちづくりをサポートし、その効果として新たな雇用が生まれると考えている。

問 星田北エリアで誘致が検討されている大規模商業施設は、交野駅前の「イズミヤ」と比較すれば、どの程度の規模か。

答 詳細は決まっていないが、およそ2〜3倍程度の売り場面積となる。

要望 大規模商業施設の誘致の検討が行われている星田北エリアの区画整理事業には、多くの税金投入が予定されている。新たな大規

模商業施設の開業は、市内の商業に大きな影響を与えることが予測される。しかし、市内商業への影響の検討が行われていない。市として、早急に影響調査を行うことを求める。

住民の暮らしに欠かせない 都市農業の支援について

問 農産物の供給とともに、緑の環境や防災機能の役割を持つ都市農業が評価されている。交野での農業振興、農地保全のためのビジョン策定は必要と考えるが。

答 地場産の消費拡大や後継者不足の支援を図ってきた。今後は、担い手確保や農地保全にむけた国の法案制定や基本計画を注視し、交野の良好なまちづくりに

つながるよう進めたい。
要望 都市計画見直しや農地税制の改正など必要。まちづくりに不可欠な都市農業を守る施策を期待する。

学校給食の無料化について

問 憲法26条の「義務教育は無償」に基づき、学校給食は無償であるべきでは。

答 学校給食法11条に保護者負担と規定されている。

意見 文科省通達での学校給食法の趣旨は、市町村の判断で保護者負担の軽減は可能としている給食の無料化を阻む内容ではない。

音楽施設の充実について

問 市内には多くの音楽団体があり、音楽の演奏にふさわしいホールの整備が要望されている。市長は、公約に「音楽・文化施設の改修・整備を検討」と掲げているが、どう考えているか。

答 身近に音楽や文化に親しむ環境を整えることは、心の健康にも重要である。公共施設の管理計画、財源

の確保、施設運営の方法と合わせ今後検討したい。

星田公園について

問 星田公園は自然豊かで地域に親しまれている一方、高台で人の目が届きにくく、利用に不安がある。遊具も古いものが一基しかない。安心して楽しく遊べる公園に改善できないか。

答 市街地の貴重な都市林が残る星田公園の地形を生かしつつ、地域のニーズに合った公園のあり方について、地域住民の声を聞きながら今後調査し、検討したい。

その他の質問

一、高齢者虐待について

会派無所属 兼田 龍洋

消費者教育について

問 ネット環境の普及によりスマホゲームや電子マネー等で子どもがお金のトラブルに巻き込まれるケースが増加しているが、学校教育はもちろん、保護者や地域も一体となった金銭教育の充実を図るべきと考えますが、本市の考えをお聞きしたい。

答 子供たちが家庭で儉約の大切さを実感する機会あるいは金銭感覚を身につけることは事実であると考えます。今後とも、保護者への啓発活動をより充実させることなどを通して、保護者との連携を深めたいと考えております。

要望 授業参観や地域イベント等、親子でお金について考える場をもっと作って頂きたい。



星田公園

委員会審査のあらまし

総務文教常任委員会（12月4日）
 交野市事務分掌条例の一部を改正する条例など
 5議案を可決

議案第61号 交野市事務分掌条例の一部を改正する条例
 ▼概要 行政経営の視点の強化及び公共施設の老朽化対策等の一元的な管理を行うため、新たな部の創設に必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第68号 交野市立幼稚園条例の一部を改正する条例
 ▼概要 子ども・子育て関連3法の成立に伴い、市立幼稚園の利用に關し必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第69号 交野市立民ふれあい館設置条例の一部を改正する条例
 ▼概要 交野市立市民ふ

都市環境福祉常任委員会（12月4日）
 交野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定など5議案を可決

れあい館の一部の施設の廃止に必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第71号 交野市自転車駐車場条例の一部を改正する条例
 ▼概要 自転車駐車場に50ccを超え、125ccまでの原動機付自転車を駐車可能にするために必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第76号 平成26年度交野市一般会計補正予算（第3号）
 ▼概要 歳出歳入それぞれ3億8081万円の増額補正、繰越明許費及び債務負担行為の追加。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第60号 交野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定
 ▼概要 子ども・子育て関連3法の成立に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に關し利用者が負担する費用について必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第67号 交野市手数料徴収条例の一部を改正する条例
 ▼概要 介護保険法に規定する指定地域密着型サービス事業者の指定等の事務に係る審査手数料を徴収するために必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第70号 交野市立保育所条例の一部を改正する条例
 ▼概要 子ども・子育て関連3法の成立に伴い、市立保育所の利用に關し必要な事項を定めるもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第75号 市道の廃止及び認定
 ▼概要 3路線を廃止し、25路線を認定するもの。
 ▼結果 可決（満場一致）

議案第77号 平成26年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
 ▼概要 歳入歳出それぞれ780万円の増額補正並びに債務負担行為及び地方債の追加。
 ▼結果 可決（満場一致）

賛否の分かれた案件の議決結果	賛否の状況（○賛成 ×反対）													
	無所属		共産		公明		市民		交星					
案 件 名	松本	兼田	坂本	片岡	皿海	中上	坂野	友井	新	三浦	久保田	野口	浅田	前波
（議案第38号）平成25年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
（議案第39号）平成25年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
（議案第43号）平成25年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
（議員提出議案第16号）「女性が輝く社会」の実現に関する意見書の提出について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※1

※無所属は会派無所属、共産は日本共産党、公明は公明党、市民は市民クラブ、交星は交星クラブです。
 ※1 前波議員は議長として立場上、採決には参加していません。

決算特別委員会（11月10、11、13、14日）

議案第38号 平成25年度
一般会計歳入歳出決算認
定

▼概要 歳入261億1008
万円、歳出256億3490万
6千円。

▼結果 認定（賛成多数）

▼主な質疑

「Aブロック」

（市有財産利活用推進
室・総務部・地域社会
部・会計室・議会事務
局・行政委員会事務局）

■ 防犯灯のLED化につ
いては、5年間で市内すべ

ての工事を行うとのこと
であるが、各区に対し毎年5
分の1ずつ行うのでは、一
度に区全体をLED化する
ことが出来ない。計画を前
倒しする考えは。

■ 毎年、区からの要望に

基づき5分の1ずつLED
化の工事を行っている。財
政状況は黒字であるもの
の、昨今、災害等突発的な
事案も発生しており、計画
の前倒しは行わず当初の計
画どおり進めていきたいと
考える。しかし、器具代が

計画当初より安価になって
いることから、最終的には
4年と数か月で市内すべて
のLED化が完了すること
が見込まれる。

「Bブロック」

（市民部・健やか部へ幼
稚園関係を除く）・福祉
部）

■ 民間保育所に対する市
補助金の「障がい児保育
費」を増額し、受け入れし
やすくされたことは評価す
るが、その実績はどうなっ
ているか。

■ 24年度の15人から25年

度は18人で、3人増加して
いる。また、障がい児とし
ての加配認定について、24
年度は民間保育所独自で申
請していたが、25年度から
は臨床心理士等の巡回相談
により判定委員会において、
対象者を判定している。

「Cブロック」

（環境部・都市整備部・
農業委員会・消防本部）

■ 管理道路路面性状調査
業務委託を実施した結果、
幹線道路は延長約35kmの内
約9%の3.2km、生活道路は
延長約207kmの内約29%の60
kmが、補修が必要と認めら
れたとのことであるが、こ
の補修が必要な道路につい
て、今後、何年で補修を完
了するのか。

■ 幹線道路、生活道路と
もに、新たな道路の傷み
が、毎年発生することや占
用工事による舗装復旧など
から、補修完了年数を特定
することは難しい。しかし
ながら、限られた予算の中

ではあるが、効率的かつ計
画的に随時補修を行ってい
る。

■ 要望 道路補修について
は、集中的に予算を付けて
実施してほしい。



路面性状調査用車両

「Dブロック」

（健やか部へ幼稚園関
係）・教育総務室・学校
教育部・生涯学習推進
部）

■ 子どもの生活習慣病と
いうのが昨今言われている
中で、本市の取り組み内科
検診などの検診結果データ
は非常に貴重であると考え
ている。これらの検診で得
られたデータをどのように
活用するのか、また、子ど

もの生活習慣病を未然に防
ぐためにも、今後どのよう
な対策が必要であると考え
ているのか。

■ 答 現時点では内科検診の
内容の一部ではあるが、心
臓疾患と疑われる児童生徒
の抽出を行い、心臓検診で
の精密な検査を行うことに
より、突然死などを未然に
防ぐための対策を講じてい
る。また、生活習慣病に関
しては内科健診により「太
り気味」や「痩せ気味」と
いったような指導に関して
は、養護教諭からの自宅に
対する通知を行っており、
栄養状態に関しては、学校
側が常に把握し、家庭との
連携を図っている。今後こ
のデータを子どもの生活習
慣病予防等に活用していく
ということでは検討の余地
がある。

「総括」

（決算全般への質問など）

■ 財政健全化計画におい
て多くの事業が削減され、

委員会審査のあらまし

市民生活、とりわけ低所得者の方々への影響は大きいと考える。財政状況も計画策定当初の目標値を上回る中、早急に計画の見直しを考えるべきでは。

答 交付金の影響等により財政健全化計画の目標値を達成しているものの、大規模な新規事業等も控えており、まだまだ厳しい状況が続いている。当初の計画どおり、27年度まで現在の計画を進め、個々の事業については、十分な検証を行いたい。

要望 多くの事業の削減は低所得者のセーフティネットに関わることであり、早急な対応が求められている。厳しい経済情勢の下、現状を踏まえたしつかりとした対応を願う。

〔討論〕

反対討論 25年度一般会計決算は、実質収支が2億9577万円の黒字となり、さらに、基金は、4億9千

万円積み増し、総額約48億円となった。第2次財政健全化計画で、27年度に基金を15億円以上残すとした目標に対して、はるかに多い基金の残高となっている。財政状況も、第2次財政健全化計画での財政目標を大きく上回って改善しつつあるなか、削減した高齢者・障がい者・低所得者への支援策をもとにもどし、さらなる充実に踏み出すとともに、市役所の正規職員を増やし、マンパワーがさらに発揮される体制づくりを進めることを求め反対とする。

賛成討論 25年度一般会計決算は、将来負担比率が大きく改善したことを評価する。個別の事業としては、防犯灯LED化事業、災害時緊急物資の分散備蓄、子育て支援として、妊婦健診の拡充及び公立幼稚園の預かり保育の実施、また、青年の家の耐震化診断を実施したことについて評価す

る。27年度予算に災害等の予防対策を反映されることを要望し賛成する。

賛成討論 25年度一般会計決算においては、第2次財政健全化の中、様々な見直しを行い、市民の方々の理解と協力のもと、よい方向に向かっているが、地方交付税等に頼るところが大きい。また、新学校給食センター建設や新ごみ処理施設などの大型公共工事を実施していることを鑑みると、決して楽観視できる状況ではない。市民の方々の安全安心、特に土砂災害への対応においての投資を、27年度予算に反映することを要望し賛成する。

議案第39号 平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

▼概要 歳入80億5688万8千円、歳出79億5403万9千円。

▼討論 反対⇐保険料は、

24年度と比較して1人平均2千円の値上げとなっている。市として、保険料を引き下げるため、市の一般会計からの繰り入れを増やすとともに、国に対し、国庫負担の増額を強く要求されることを求め反対する。

▼結果 認定(賛成多数)

議案第40号 平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

▼概要 歳入14億9228万3千円、歳出14億8291万3千円。

▼結果 認定(満場一致)

議案第41号 平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定

▼概要 歳入46億7546万3千円、歳出46億6218万4千円。

▼結果 認定(満場一致)

議案第42号 平成25年度公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定

▼概要 歳入2億3948万8千円、歳出2億3948万8千円。

▼結果 認定(満場一致)

議案第43号 平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

▼概要 歳入9億9245万3千円、歳出9億4162万円。

▼討論 反対⇐後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を年齢で分けて別立ての保険制度とし、医療費が多くかかる世代の高齢者に保険料を際限なく引き上げて負担をさせていく仕組みであるため、制度そのものに反対し、本決算認定にも反対する。

▼結果 認定(賛成多数)

平成26年第4回議会定例会（12月1日～12月19日）

案 件 名		本会議結果
議第38号	平成25年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定○
議第39号	平成25年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定○
議第40号	平成25年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第41号	平成25年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第42号	平成25年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第43号	平成25年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定○
議第59号	固定資産評価員の選任について	同意◎
議第60号	交野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定について	可決◎
議第61号	交野市事務分掌条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第62号	交野市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第63号	交野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第64号	交野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第65号	交野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第66号	交野市水道事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第67号	交野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第68号	交野市立幼稚園条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第69号	交野市立市民ふれあい館設置条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第70号	交野市立保育所条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第71号	交野市自転車駐車場条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第72号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第73号	交野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第74号	交野市内の道路を寝屋川市道路として認定することの承諾について	可決◎
議第75号	市道の廃止及び認定について	可決◎
議第76号	平成26年度交野市一般会計補正予算（第3号）について	可決◎
議第77号	平成26年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	可決◎
議第78号	平成26年度交野市一般会計補正予算（第4号）について	可決◎
議第79号	平成26年度交野市一般会計補正予算（第5号）について	可決◎
議員第14号	難病対策の充実等に関する意見書の提出について	可決◎
議員第15号	地域の中小企業振興策を求める意見書の提出について	可決◎
議員第16号	「女性が輝く社会」の実現に関する意見書の提出について	可決○
	議員の派遣について	決定
	議会運営委員会の所管事務調査について	決定
	常任委員会の所管事務調査について	決定

※議は議案、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

※松本直高議員（会派無所属）、兼田龍洋議員（会派無所属）、坂本顕議員（会派無所属）は、議案第62号、63号、64号、65号、66号の採決時に退場したため、当該議案の採決には参加していません。

議会の傍聴にお越しく下さい
～平成27年第1回議会定例会の予定～

2月26日（木）本会議初日（議案上程）
3月6日（金）、9日（月）、10日（火）本会議（一般質問）
3月19日（木）常任委員会
3月25日（水）本会議最終日（委員長報告・採決）